

常緑／地被類等／木本植物
／外来種・園芸品種



科名 シソ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い
草本扱い（保証の観点より）

とてもよい香りがするハーブ。新芽時は特に香りが強く、触れただけでも香りが出る。立ち性、匍匐(ほふく)性と低木性タイプがある。立ち性タイプは、刈り込んで生垣に利用できる。匍匐性タイプは、クリーピングローズマリーとも呼ばれ、グラウンドカバーに利用される。



Memo

日本のミョウガ、シソ、サンショウとともにローズマリーやローリエは、料理に利用しやすいハーブ。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花	期	(※品種により異なる)											
果	実	(※品種により異なる)											
紅	葉												
施	肥	(痩せ地でなければ不要)											
剪	定	■					■						■

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土壌	乾	○	○	湿
寒さ	強	○		弱
暑さ	強	○		弱
潮風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
			○	○			

ポイント

乾燥気味な場所を好む。匍匐（ほふく）性タイプは、石積みの上に配植すると下垂してくる。内部が蒸れないよう剪定するとよい。また、芳香は、周囲の植物に害虫が付きにくくなる忌避効果もある。

剪定

年数を経た枝は、木化してくる。強剪定して新しく萌芽させ、新旧更新するとまとまる。繁茂し過ぎたら、刈り込むのではなく、枝抜き剪定の要領で枝の分岐部まで切り戻すとよい。

病虫害

病虫害は少ない。